

平成21年度

石手川ダム水源地域ビジョン

活 動 報 告 書

平成22年3月

石手川ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会

1. 会議等 開催状況

- 平成21年6月1日 推進委員会 出席委員 11名
- 平成21年6月30日 連絡協議会 出席委員 20名
・第1回地域づくり部会
・第1回環境づくり部会
- 平成21年7月29日 自然と遊ぼうDAY!実施 参加者 123名
- 平成21年10月26日 第2回環境づくり部会 出席委員 10名
- 平成21年11月26日 第2回地域づくり部会 出席委員 8名
- 平成21年11月28日 石手川ダム自然観察会実施 参加者 47名
- 平成22年1月29日 炭焼き体験(第1部:窯火入れ)実施
参加者 20名
- 平成22年2月7日 炭焼き体験(第2部:竹炭取り出し)実施
参加者 40名
- 平成22年2月16日 第3回環境づくり部会 出席委員 10名
- 平成22年3月12日 留学生友好の森づくり 中止
- 平成22年3月20日 自然観察会(オオムラサキの幼虫探しin五明)実施
参加者 111名

2. 検討内容

◎ 平成21年6月1日 推進委員会での協議

大枠の方向性は以下のとおり。

1. 放置竹林対策や竹の有効活用について（両部会）

○将来的な課題として研究する。

2. 留学生友好の森づくり事業の実施について（地域づくり部会）

○特に安全面に配慮のうえ、継続実施する。

3. 遊休農地の有効活用について（地域づくり部会）

○「自然農によるモデル事業」を継続する中で、昨年度発足した「水農里会」について、会員の勧誘や運営経費の補助などの支援を行い、更なる展開を目指す。

4. 自然観察会の実施について（環境づくり部会）

○開催する地区や対象者等も十分検討のうえ、継続実施する。

5. 不法投棄防止対策について（環境づくり部会）

○引き続き啓発活動を実施する中で、必要に応じて新たな具体的対策について検討する。

以上のような方向性で、詳細の検討や事業の実施は連絡協議会に一任する。
また、予算についてもこれまでどおりであるが、国等で実施している各種助成制度の活用については事務局へ一任する。

◎ 平成 21 年 6 月 30 日 連絡協議会での協議

1. 放置竹林対策や竹の有効活用について（両部会）

○関係者から現状報告を行い、情報を共有した。

- ・竹の有効活用については、いろいろな取り組み（竹材の無償配布・竹加工教室等）が考えられるが、今後さらなる検討が必要。

2. 留学生友好の森づくり事業の実施について（地域づくり部会）

○留学生友好の森づくり事業を昨年度に引き続き実施することを決定。

- ・実施に当たっては、特に子どもの安全面に配慮して実施する。また、下草刈りや枝打ち等の保育作業も組み込むこととした。

3. 遊休農地の有効活用について（地域づくり部会）

○水農里会の活動を支援していくことで、遊休農地の有効活用を図る。

- ・昨年度発足した水農里会について会員の拡大や指導者の育成を行うとともに、研修会等を通して活動の広がりを図る。8 月には、自然農の全国的指導者である川口由一氏を招いて現地指導を予定している。

4. 自然観察会の実施について（環境づくり部会）

○例年通り、「自然と遊ぼう DAY！」とレインボーハイランドでの自然観察会を実施する。また、石手川ダムに飛来するオシドリの観察を 11 月頃に予定している。

5. 不法投棄防止対策について（環境づくり部会）

○引き続き啓発活動を実施する。また、必要に応じて新たな具体的対策について検討する。

- ・啓発用看板は一定の効果が認められるため、引き続き経過を注視する。また、不法投棄の現場対応は、身の安全が脅かされることも想定されるため、慎重に検討する。また、提案のあった「オオムラサキの里づくり」や「ホテルを観察に来る人のマナー向上」についても検討する。

◎ 平成21年10月26日 環境づくり部会での協議

1. 自然観察会の実施について

- ①「自然と遊ぼう DAY！」の報告
- ②石手川ダム自然観察会の周知

2. 不法投棄防止策について

- ステッカー車によるパトロールについて
 - ・パトロールについては設置看板の効果もでており、その経過をみて判断する。
- ⇒今後は、地域の不法投棄の状況をみながら検討していく。

3. 「オオムラサキの里づくり」の活動紹介

- 五明小学校において実施している「オオムラサキの里をつくろう」の活動状況の説明。

4. ホタル観察のための道路整備について

- ①ホタル道の整備などを行い、なるべくいい環境でホタルをみてほしいが、駐車場の問題もあるので難しい。
- ②参加者が増えるとマナーの問題も出てくる⇒現状のままで問題ない。

5. 放置竹林対策や竹の有効活用について

- 国土交通省より、竹炭づくりの提案。
 - ・ダムの施設に木炭を作る窯があり、今夏のダムのイベントで竹炭を作り参加者に配布したところ好評であった。
 - ・まずは、試験的に地域の皆さんで竹炭作り体験を試みる。⇒その結果どのような利用方法があるか地域づくり部会と連携して検討。

◎ 平成 21 年 11 月 26 日 地域づくり部会での協議

1. 水農里会の活動報告について

2. 放置竹林対策や竹の有効活用について

○炭焼きについて

- ①環境づくり部会と同様、国土交通省より、竹炭づくりの提案。
- ②まずは試験的にモデル事業を実施。⇒その結果により次の展開を検討。
- ③募集方法や人数の検討。
- ④火入れ時や窯出し時の参加者確保策を検討。

3. 遊休農地の有効活用について

○12月に水農里会で実施される収穫祭について説明。

4. 留学生友好の森づくり事業について

- 日浦小中学校の「日浦夢桜の森づくり」と協同で開催することを検討中。
- ・昨年度と同じ場所で継続的な補植作業を実施する。併せて記念植樹も実施。
- ・植樹場所は足場が悪いため、昨年同様、安全対策の徹底を図る。

◎ 平成 22 年 2 月 16 日 環境づくり部会での協議

1. 自然観察会等の実施について

- ①「石手川ダム自然観察会」の実施報告。
- ②「竹炭づくり」の実施報告
- ③「自然観察会オオムラサキの幼虫探し in 五明」の周知

2. 今後の課題について

○継続的な取り組みとして「竹炭づくり」や「自然観察会」の充実を図る。